

第 26 回日本医用画像工学会大会

JAMIT Annual Meeting 2007 (JAMIT2007)

のお知らせ

会期：2007年7月20日（金）・21日（土）
(July 20th & 21st, 2007)

会場：つくば国際会議場（エポカルつくば）

大会長：武田 徹（筑波大学大学院人間総合科学研究科）
(Tohoru Takeda: University of Tsukuba)

主 催：日本医用画像工学会
(JAMIT: Japanese Society of Medical Imaging Technology)

後 援
(社) 日本画像医療システム工業会
(JIRA: Japan Industries Association of Radiological Systems)
保健医療福祉情報システム工業会
(JAHIS: Japanese Association of Healthcare Information Systems Industry)
(社) 電子情報技術産業協会
(JEITA: Japan Electronics and Information Technology Industries Association)

協 賛(予定)

医用画像情報学会	応用物理学会
可視化情報学会	画像電子学会
コンピュータ支援画像診断学会	電子情報通信学会
日本医学物理学会	日本医学放射線学会
日本生体医工学会	日本医療情報学会
日本画像医学会	日本核医学会
日本磁気共鳴医学会	日本コンピュータ外科学会
日本脳神経 CI 学会	日本超音波医学会
茨城県南地区医師会学術連絡会	日本放射線技術学会
三次元画像コンファレンス実行委員会	

大会ホームページ：URL http://www.jamit.jp/index_j.htm （日本医用画像工学会 HP）

ご挨拶

第26回日本医用画像工学会大会を、筑波大学大学院人間総合科学研究科の武田徹先生のお世話のもと、7月20日から2日間の日程で、つくば国際会議場において開催することとなりました。この分野に興味をお持ちの多数の皆様のご出席をお待ちいたしております。

本学会は、医学・工学の領域にまたがる医用画像工学研究の中心的な活動に、またと無い場となるよう努力を続けております。そのなかで、本大会の担ってきた意義は大きなものであったと自負しております。例年、会員でない方も交えた、医学者、科学技術者、さらには臨床の場や周辺に関係される方々の盛り上がりのある交流の場となっており、このような方々の参加を歓迎いたします。また、この参加を契機に、学会活動への一層の関わりをお考えいただければ幸いです。

人間を中心にすえた科学技術の展開が強く求められているとき、本学会の受け持つべき使命は小さくありません。医療現場における情報機器の普及も著しく、その理論的、実技的なバックボーンを支える研究開発・情報共有の場として、大きな貢献ができると信じております。この分野が一層の展開を図れるよう、かねてから進めてまいりました関連分野の方々との連携事業も、徐々にではありますが動いております。

今回も新たな場所で、武田先生を中心に熱のこもった企画が準備されていますので、この分野に興味をお持ちの多数の方々のご参加を得て、本大会が優れた研究発表、活発な討論、さらには相互理解と懇親の場となり、今後の展開の活力源となりますよう期待しております。

日本医用画像工学会
会長 赤塚 孝雄

ご挨拶

第26回日本医用画像工学会大会を、少し田舎になりますがつくばで開催致します。

会期は、2007年7月20日（金）と21日（土）の2日間で、会場は、つくば国際会議場（エポカルつくば）に設定いたしました。

大会運営は、プログラム委員長に超音波診断装置の開発などに携わっておられる椎名 毅（筑波大学）先生、業務委員長に横内久猛（元日立メディコ）、同副委員長に井桁嘉一（日立メディコ）の両氏をお迎えして進めております。また、顧問として、画像診断にご縁の深い臨床の大家 遠藤啓吾（群馬大学）、日下部きよ子（東京女子医科大学）、朝田 隆（筑波大学）、玉岡 晃（筑波大学）、松村 明（筑波大学）、南 学（筑波大学）と、工学領域の先端的な研究をされている若槻壮市（高エネルギー加速器研究機構）の7人の先生方にご就任頂き、臨床医学と画像工学の連携と協調につきご助言を頂いております。

研究発表は、討論と交流に重点を置いて口演を中心に行うことにしました。最近のトピックスに関する特別講演とシンポジウムを企画しておりますが、特に、我々の大きな課題のひとつ、21世紀の高齢化時代の問題である「認知症」に焦点を当てて考えました。これには、CAD、分子イメージング、グリッド・コンピューティングなど、臨床系と工学系の重要なテーマが含まれています。また、「認知症」に関する特別講演とシンポジウムは、より多くの医師や関係者が参加し、工学の研究者と交流できるように公開講座形式といたしました。

さらに、情報交流の形態として前大会長の湊小太郎先生が企画されたステージプレゼンテーションが非常に好評でしたので、今回もこれを踏襲し各社の技術者に最新の製品や開発コンセプトを紹介していただきます。懇親会を含め臨床医学と産業技術の相互理解と連携を深め、明日の医用画像工学技術の研究と開発につながる交流の場となることを願っています。

つくばエクスプレスが開業し、秋葉原からつくばまで45分ですので、例年にもまして多数の皆様の演題お申し込みとご参加をお待ちしています。

第26回日本医用画像工学会大会
大会長 武田 徹

開催のご案内

1. 会期：2007年7月20日（金）・21日（土）
2. 会場：つくば国際会議場（エポカルつくば）茨城県つくば市竹園2丁目20番3号
会場のURL <http://www.epochal.or.jp/>
つくばエクスプレスURL <http://www.mir.co.jp/timetable/index.html>
3. 大会長：武田 徹（筑波大学 大学院人間総合科学研究科）
プログラム委員長：椎名 毅（筑波大学 大学院システム情報工学研究科）
業務委員長：横内久猛（元日立メディコ）
副委員長：井桁嘉一（日立メディコ）
顧問：遠藤啓吾（群馬大学）、日下部きよ子（東京女子医科大学）、
朝田 隆（筑波大学）、玉岡 晃（筑波大学）、松村 明（筑波大学）、
南 学（筑波大学）、若槻壮市（高エネルギー加速器研究機構）
4. 大会ホームページ：URL http://www.jamit.jp/index_j.htm（日本医用画像工学会 HP）
5. 大会の内容
 - 1) 研究発表
医用画像工学に関する諸分野の研究開発成果を、口演にて発表をお願いいたします。
投稿論文は当日配布される論文集(CDROM)に採録されます。同時に、希望者は査読付論文として申し込み、査読プロセスを経て学会誌論文に採択されます（10.参照）。
 - 2) 特別講演
 - ほう惚けるといふこと ―ヒトの末路の歴史―
国立精神・神経センター 総長 金澤一郎
 - 臓器疾病横断型 CAD システム開発プロジェクト ―成果概要と今後の課題―
東京農工大学 学長 小畑秀文
 - 高齢化時代を支援するロボットスーツ (Hal) 講演と実演 (仮題)
筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授 山海嘉之
 - 3) シンポジウム
 - 国際シンポジウム：
画像ファイリングとCADの融合化 ―内容に基づく医用画像検索の技術―
オーガナイザー：中井敏晴（国立長寿研究所）
Medical Image Analysis and its Application - Ontology and Context Related
Medical Image Distributed Intelligent Access -
 - アルツハイマー病の最前線 ―早期診断、治療、予防の探索と展望―
オーガナイザー：玉岡 晃（筑波大学）
 - 4) 公開講座
7月21日（土曜日）の午後に開催する国立精神・神経センター総長 金澤一郎先生の特別講演と認知症のシンポジウムは、より多くの医師や関係者が参加し、工学の研

究者と交流できるように公開講座の形式をとりました。

本公開講座は、日本医師会生涯教育講座5単位が認定されます。

5) ステージプレゼンテーション

最新の技術や製品の紹介、開発コンセプトなど企業によるステージプレゼンテーションを行います(11.参照)。

6) ランチョンセミナー

脳領域の画像診断支援に関してランチョンセミナーを行います。

6. 大会参加登録

1) 登録: 当日、会場受付にて承ります。

2) 参加費: 正会員(賛助会員含む): 10,000円 学生会員: 2,000円
非会員: 15,000円

参加者には抄録集(CD-ROM)が配布されます。

特別参加費(「認知症」の公開講座のみ参加): 1,000円

3) 懇親会: 会員相互の親睦および情報交換の場としてご参加ください。

日時: 2007年7月20日(金) プログラム終了後

会場: エポカルつくば 大会議室102 懇親会参加費: 1,000円

7. 予稿集

「予稿集」は、CD-ROM版のみの発行となります。但し、演題申込み時に提出された「アブストラクト」は事前に配布される「プログラム」に掲載致します。

8. 演題申込み

研究発表分野: 医用画像工学に関する諸分野

(キーワードの例) 画像基礎技術、信号検出・計測、単色X線、放射光、超音波、CT、MDCT、MRI、fMRI、SPECT、PET、光、内視鏡、画質評価、ファントム、医用画像処理、画像再構成、画像認識・理解、データベース、画像表示技術、CAD(コンピュータ支援画像診断)、診断論理、仮想化内視鏡システム、医用VR、コンピュータ外科、手術支援、治療計画、医療情報システム、電子カルテ、遠隔医療、PACS、HIS、RIS、IHE-J、標準化、分子イメージング、バイオインフォマティクス、その他。

1) 演題申込締切: **2007年3月9日(金) 17:00** (E-mailでのみ受付)

2) 申込先: office@jamit.jp (学会事務局)

3) 今回の発表方式は、口頭発表のみの予定です。

4) 提出方法

① E-mailで下記の必要事項をデータにして、添付ファイルでお送り下さい。

② 記載要項(必ず全ての項目を記載の上、ご提出下さい)

a. 発表者名(フリガナ共)/所属名/所属先住所(郵便番号)/連絡先及び住所(所属と違う場合)/連絡先電話/連絡先FAX番号/連絡先E-mail

b. キーワード(複数可)

c. 奨励賞受賞資格(40歳未満[会期終了時点])の有無: 資格が有の場合は、生年月日も記載

d. 査読付き論文の希望の有無(査読付き論文制度説明書参照)

e. 演題名(日本語)/発表者名・所属名(共同発表者含む・筆頭発表者に○印)

- f. 演題名（英語）／発表者名・所属名（共同発表者含む・筆頭発表者に○印）
- g. アブストラクト（テキストのみ／日本語400字または英語200語以内）

③ 受領通知は、E-mail で返信いたします。

なお、演題申し込みにもなう個人情報については、本学会の運営に関わる目的以外には使用しません。

- 5) 演題の採否はプログラム委員会にご一任頂きますので、ご了承下さい。
- 6) 一般演題採択者には2007年4月初めに「演題採択通知」と「予稿集原稿作成要綱」をお送りしますので、予稿原稿（PDF）を期日までにご提出下さい。

原稿提出締切：2007年5月18日（金） 17:00（厳守）

- 7) 筆頭発表者は、本学会会員に限ります。非会員の方は大会当日までに会員登録を完了してください。非会員は発表できません。

入会申込みは、学会のホームページから行えます。お問い合わせは下記事務局へ

日本医用画像工学会事務局 (<http://www.jamit.jp/index-j.html>)

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-11 パークアキス本郷の杜 1201

(有) クァンタム内

TEL:03-5684-1636 FAX:03-5684-1650 E-mail: office@jamit.jp

9. 予稿原稿について

- ・予稿原稿のページ数は10ページ以内とし、PDF ファイルで提出して頂きます。
- ・ファイルサイズの最大値は2M バイトを予定しています。

詳細は「演題採用通知」と共にご案内します。

10. 査読付き論文制度

例年通り、JAMIT 大会における査読付き論文制度（学会誌:Medical Imaging Technology に論文掲載）の受付を予定しています。

詳細は学会ホームページをご参照ください。

この制度を利用した多くの論文の投稿をお待ちしております。

査読付き論文投稿についての質問は、編集委員会 kudo@cs.tsukuba.ac.jp（投稿担当：工藤）までお問い合わせください。

11. ステージプレゼンテーションのご案内

次世代の医用画像情報技術の発展をめざしている各社の開発技術者による、最新の製品や開発コンセプト等を紹介していただきます。第2日目の12時頃から午後1時頃までの間、参加各企業より1演題あたり約10分程度で、発表していただきます。また、軽い昼食を用意する予定です。

発表希望の企業の方は、事務局までお問合せ下さい。